

令和3年度6年生
昨年度の授業改善プランについて

国語⇒漢字を繰り返し練習させることで知識・理解・技能は向上したが、読み取りの能力に課題がある。
 社会⇒観察・資料活用の技能・表現は向上したが、結果を基に自分の言葉で説明し、まとめる力に課題がある。
 算数⇒東京ベーシックドリルやステップ学習プリントを日常的に活用することで、どの観点でも目標を達成した。
 理科⇒観察や実験結果を基に考察する能力は向上したが、基礎的な知識・理解が不足している。

I 大田区学習効果測定の結果と概要

△：正答率の平均が目標値を上回った教科・観点

≒：正答率の平均が目標値と同程度の教科・観点

▼：正答率の平均が目標値を下回った教科・観点

教科	国語			社会			算数			理科		
全体	△			▼			△			▼		
観点別	△	△	△	▼	▼	▼	△	△	△	▼	≒	≒
	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

1 教科全体

国語、算数はどの観点も目標値を上回った。社会、理科は目標値を下回った。

2 観点別

国語では、各観点でそれぞれ約5ポイント上回った。算数の思考・判断・表現では、目標値を約9ポイント上回った。一方、社会、理科は目標値を下回った。社会では、各観点でそれぞれ約2ポイントずつ下回り、理科では、知識・技能において約3ポイント下回った。

II 教科ごとの授業改善プラン

1 国語・社会・算数・理科

【国語】

「書く」領域において、話し合い後に友達のを考えを取り入れ、自身の文章に活かすことが課題である。
 改善策として、話し合いの視点を明確にし、書き直したものを再度、推敲することで文章作成能力を向上させていく。

【社会】

必要な情報を精査し集め、活用する力の向上が課題である。
 改善策として、単元毎に比較可能な資料を提示し反復練習を行うことで情報の精査、活用能力を向上させていく。

【算数】

児童間で、知識・技能の幅に大きく差があり課題である。
 改善策として、日々の朝学習等で、かけ算・わり算に取り組む時間をつくり基礎学習の定着を目指す。

【理科】

植物や動物の誕生や成長過程についての理解度が低く全体的に知識の向上が必要である。
 改善策として、既習事項と関連付けて学習を進めていく。児童一人一人が実験を行える環境を作り、繰り返し実験を行う。積極的に動画を活用することで、知識の定着を図る。

2 音楽・図工・家庭・体育

	児童の実態	おおむね良好：○ 改善が必要：△	授業改善プラン
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ●知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの児童が、歌唱や器楽の技能を身に付けてそれを学習に活かすことができている。数名の児童に苦手意識があるので、個別での支援が必要。 ●思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・曲想を感じ取り、味わうことができる児童が多い。 ・合唱や合奏の響きを感じ取り、自分のパートの役割を考えながら活動ができている児童が多い。 ●主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を活かしながら、根気よく学習に取り組める児童が多い。 	<p>△</p> <p>○</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間等を利用して、個別に指導を行う。 ・様々な角度から曲を学習し、味わえるようにする。 ・最終的にどのように表現したいのか、児童が目標を定められるよう指導する。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ●知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・新しい道具や技法に対する関心が高く、正しい扱い方や技能を身に付けようとしている。また、既習事項を活かして、表現に結び付けようとしている。 ●思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの発想をもち、すすんで取り組める児童が多い。 ・自分や友人の活動や作品の違いや面白さを感じ取っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい作品をつくらうと、根気強く制作に取り組む児童が多い。一方、集中してねばり強く、作品作りに取り組めない児童もいる。 	<p>○</p> <p>○</p> <p>△</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい作品づくりを目指し、個人的にアドバイスをしたり、手助けをしたりする。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ●知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭科で学習したことを家庭生活において具体的に活かすことが大切であることに気付くことができた児童が多い。 ●思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・日頃の生活において、学習したことを活かした生活の工夫等の発展的活動までできている児童もいるが、活かしていない児童もいる。 ●主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことについて家庭生活中で具体的に実践している児童が多い。 	<p>○</p> <p>△</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の生活に生かせる学習内容・計画を立てる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ●知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> 児童の間で、技能に大きく差が出ている。教え合いや教示を行い全体として、向上を図っている。 ●思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> チームでの役割を明確にしたり、話し合いの場を多く設けたりすることで、考えの幅が広がってきた。課題別に学習の場を用意することで児童が自分に必要なことを考え、活動することに繋がった。 ●主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> チームでの作戦会議の時間を手厚くとることで、児童が積極的に学習に取り組む姿が多く見られた。 	<p>△</p> <p>○</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して、積極的に児童が考える場をつくり、自分事として主体的に取り組む姿を育成していく。